



【最優秀賞】

(作品名)  
「なぜ住宅街にフクロウが?!」

(学校名)  
私立茗溪学園中学校

(学年・氏名)  
2年 安藤 悠樹

【作者による紹介】

家の前でフクロウを見つけた。森の中にしか住んでいないと思っていたため驚いた。そこでつくば駅周辺、研究学園駅周辺の地域開発により、鳥の住処にどのような変化があったのかを調べてみた。すると、つくば駅周辺では、雑木林が残されているのに対し、研究学園駅周辺では、かなり雑木林が減り、様々な生き物の住処が減少していることがわかった。よって、つくば駅周辺のように緑を守りながら地域開発を進めてほしいと思った。

【講評】

自宅前でフクロウを見かけたことをきっかけに、野鳥に興味をもち、作者が住む筑波研究学園都市のつくば駅地区と研究学園地区の環境変遷を調査研究した力作です。

地図や写真による過去 20 年の変化の詳細な比較に加えて、現地調査を丁寧に行い、その結果を表と写真、手描きのわかりやすい地図にまとめています。研究方法、考察、結論、表現、いずれも優れて評価できます。調査結果をふまえた、“自分にとって”“野鳥にとって”“住みやすい現在の自宅周辺も再開発により野鳥が減っていく可能性が高い”という考察は鋭く、さらに日本全体の問題として捉え、対策を提案していることも評価できる作品です。美しい野鳥のイラストから作者の野鳥や環境への優しい思いも伝わります。



## 【優秀賞】

(作品名)  
「茨城の天然記念物 MAP  
～茨城の自然を知る～」

(学校名)  
国立大学法人  
茨城大学教育学部附属小学校

(学年・氏名)  
4年 中澤 理久

### 【作者による紹介】

この地図を制作した理由は、ぼくの家近くの神社で天然記念物を発見し、興味を持ったからです。一目で天然記念物の内容や場所が分かるようにシールで分けるなどの工夫をしました。調べていく中で、貴重なものでも登録前に比べて減少している所もあることに一番驚きました。天然記念物を保護するためには、たくさんの人が興味を持ち、知っていくことが大切だと思いました。ぼくも、今回調べたことを広めたいと考えています。

### 【講評】

作者が住んでいる水戸市内の天然記念物への興味・関心をきっかけに、調査範囲を茨城県全体に広げ、天然記念物の分布、特徴、課題等を明らかにしようとした意欲作です。

調査項目を細かく設定し、本やインターネットを活用するだけでなく、実際に現地に足を運び、調査した内容と写真を合わせて、丁寧にまとめています。また、天然記念物に対する疑問を整理し、茨城県教育庁総務企画部文化課担当者へのインタビューから、天然記念物の管理、指定の基準、現在の登録状況等を明らかにしています。

「天然記念物を保護するためには、たくさんの人が天然記念物に興味をもち、知ることが大切だ」という作者の強い思いや願いが、天然記念物の保護、継承につながる点からも評価できる作品です。



## 【優秀賞】

(作品名)  
「旧金砂郷町ここ50年の変貌」

(学校名)  
常陸太田市立  
金砂郷小学校  
金砂郷中学校

(学年・氏名)  
3年 窪谷 美瑠  
1年 窪谷 来春

### 【作者による紹介】

今年の4月から旧金砂郷町内の小中学校は「新」金砂郷小学校と金砂郷中学校だけになりました。10年前ごろまでは6校あったのに、こんなに減ったのは何故だろうと考えました。そこで、50年前と比較する形で町丁別人口等を調べて、地図に表しました。その結果、町によって人口の減少幅は異なるものの、全体的に減り、一部の地域に集中するようになっていきます。今後ますますこの傾向が強まっていくことが心配です。

### 【講評】

旧金砂郷町の50年前と現在の地区別の人口密度図を作成し詳細に読み取り考察を加え、町の50年の変貌をまとめた作品です。

人口減少がどの地区で特に進んでいるのかがよくわかります。航空写真や地図、学校の写真、イラストなどの配置がよく工夫され、伝えたいことが、文面ばかりでなく視覚的にもはっきりとできています。

人口減少から学校の統廃合が進み、学校減により地域社会の存続が困難になっていること、40分もバスに揺られて通学する子がいることなどの課題を指摘したうえで、ともに作品に取り組んだ小学生の妹を思い「小学校は自分の足で歩いて体力もつけたいし、友達と楽しく話して通わせてあげたい」という中学生の姉の言葉は重く、考えさせられることの多い作品です。

## 【優秀賞】

(作品名)  
「茨城県の鉄道地図」

(学校名)  
茨城県立日立第一高等学校附属中学校

(学年・氏名)  
1年 高橋 諒斗



### 【作者による紹介】

僕は小さい頃から鉄道が好きで、茨城県の鉄道の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思い、鉄道地図を作りました。調べていくうちに、「需要があるにも関わらず鉄道が通っていない地域があるということ」、「観光需要があるにも関わらず利用者数が少ない路線があるということ」など、様々な課題があることが分かりました。茨城県の鉄道は将来性があり、観光的にも魅力的な路線がたくさんあるので、この地図を通してその良さを知ってもらえたらうれしいです。

### 【講評】

茨城県全域の鉄道路線を廃止路線も含めて網羅した鉄道地図です。地図、路線などの描画も文章もすべて手書きで温かみがあり、鉄道が大好きな作者の思いが伝わり、多くの人目に留まる作品です。県全域にわたる現地調査で撮影した写真やインターネットで調べたことなど路線や駅、車両など鉄道に関する情報が満載で、みて読んで楽しくなる作品です。

調査し地図にまとめることを通して、県北地域の東西のアクセスや鹿行・県南地域間のアクセスが悪いこと、それらの地域にかつて走っていた鉄道が自動車の普及で廃線となったことなどを見いだしたうえで、これからの鉄道のありかたについて考察を深めている点も高く評価できます。



**【優秀賞】**

(作品名)  
「TX開通が守谷市を変えた!？」

(学校名)  
私立茗溪学園中学校

(学年・氏名)  
2年 柳川 真珠

**【作者による紹介】**

私が住んでいる守谷市は、TX 開通により駅前を中心に劇的な変化を遂げました。そこで、TX 開通前と後を比較してどのような変化や影響があったのかを調べました。その結果、ベッタウンとして移住者が大幅に増加し、自然と共生しながら便利な生活を送ることができる素敵な街に変化した一方、人口増加により急速な高齢化が予測され、空き家の抑制やマイカーを持たなくても生活することができる交通網の整備などの課題も見えてきました。

**【講評】**

TX(つくばエクスプレス)の開通によって地元守谷市がどのように変化してきたのかを 3 つの方法で調べ、地図に表した作品です。

一つは HP 上の守谷市の情報及び国土地理院の年代別の地図の使用、二つ目には守谷市を自ら歩いて観察したこと、そして三つ目には地元の住民へのインタビューです。時間軸を設定し、そこに自らの調査をバランス良く織り込みながら守谷市の変化を表現しています。

まとめでは、住民にとっての課題－急速な人口増加と高齢化の進展－の指摘、そしてそれに対する対策・提言までもが記されており、一目で守谷市がTXの開通によって受けた影響を把握できます。作成者にはこの感覚を今後もぜひもちながら、地域を見つめていてもらいたいと思います。



## 【優秀賞】

(作品名)  
「水に関する漢字とひたちなか市の地名の関係」

(学校名)  
ひたちなか市立勝田第三中学校

(学年・氏名)  
1年 井上 寧々



### 【作者による紹介】

母から「引っ越し先の地名にさんずいが付いていたので、水害を心配した。」という話を聞き、地名と海や川の位置に関係があったら面白いなと思い、調べてみました。市内には水に関する地名がたくさんあることが分かりましたが、漢字通りの地形ではないことも分かりました。貯水池や雨水幹線があり、水害の対策が進んだ結果だと思えます。地形と水害対策への理解が深まり、より良い暮らしのための更なる水害対策に興味をもつことが出来ました。

### 【講評】

ひたちなか市の地図を中心にして、この地域に水に関係した地名が多く分布していることがわかりやすく表現され、地名と地形、水害との関係について考えさせてくれる作品です。

地名は先人が遺した大事なメッセージです。引越しとともに、新たに住む街の災害リスクを確認することは大切なこと、地名も手がかりになりそうです。作品は、海や川に面していなくても水害の危険性があることを、私たちに気づかせてくれます。時代とともに変化する地名や土地の利用がありますし、現地で気づくこともあります。

考察に記しているように今と昔の地図を比較したり、実際にまちを歩いて土地の高低差や被害があった場所を調査したりすると、さらに新たな発見がありそうですね。

第 23 回 いばらき児童生徒地図作品展 【佳作】 の作品



【佳作】

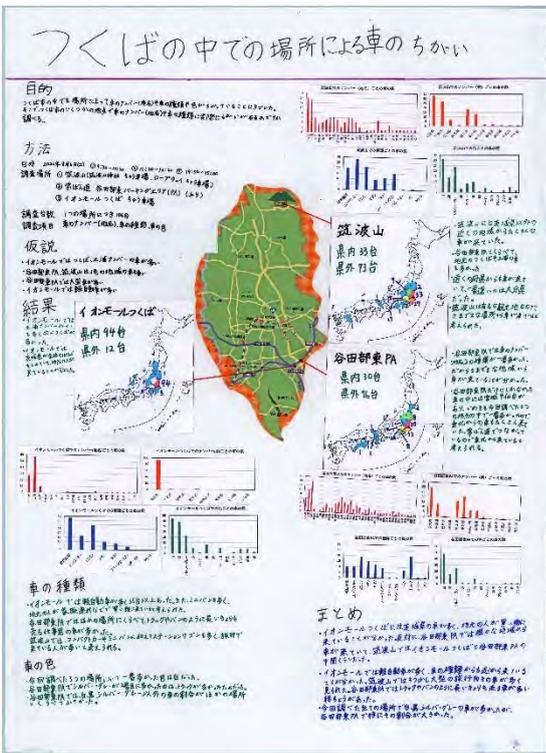
(作品名)  
「茨城県マンホールマップパート5～消火栓編～」

(学校名)  
那珂市立ばら野学園菅谷西小学校

(学年 氏名)  
6年 松永 明香里

【講評】

消火栓標識はよくみかけますが、消火栓マンホールまではなかなか気付かれません。マンホールについて毎年調査し地図作品にしてきた作者ならではのテーマです。すべてに消火栓の文字、大部分に消防車が描かれているなど共通点が多く地域差が少ないのは、覚えやすく、緊急時に見つけやすいことを重視しているということでしょうか。家の近くの消火栓マンホールの場所を探してみようと思います。



【佳作】

(作品名)  
「つくばの中での場所による車の違い」

(学校名)  
つくば市立竹園西小学校

(学年 氏名)  
4年 荻野 歩海

【講評】

市内の性格が異なる場所それぞれにどこから人が集まるのか、各駐車場の車のナンバーから調べたユニークな作品です。調査結果を地図やグラフを活用して工夫して表現しています。ショッピングモールは県内、筑波山は県外の広い地域から、常磐道パーキングエリアはさらに様々な地域から来ていることを明らかにしています。車種から訪れる人たちの傾向を推察するなど得られたデータを深く考察している点も評価できます。



【佳作】

(作品名)  
「縄文時代ヘタイムワープ!! 当時のくらしはどんなもの?」  
上高津縄文人の生活マップ

(学校名)  
私立茗溪学園中学校

(学年 氏名)  
3年 播田 寛 一貴

【講評】  
縄文人の暮らしを再現した上高津貝塚ふるさと歴史の広場を訪れ、資料館で調べたり体験したことを地図作品にまとめています。縄文の村を復元した広場の地図に住居や貝塚、食料となる木の実や小動物などのイラストを配し、縄文人の生活がどのようなものであったかがイメージできるように工夫して表現しています。地図作品をみていると、実際に行ってみたくくなりますね。



【佳作】

(作品名)  
「つくば市豊里地区の戦争碑」

(学校名)  
つくば市立沼崎小学校

(学年 氏名)  
6年 石上 徳人

【講評】  
地域にある石碑の中に、第二次世界大戦で戦地において亡くなった地元の人々の戦没地と年月日が記されているものを見つけた作者。難解な文字を読み解き、その内容を地図と年表にわかりやすく表現しています。戦争末期に戦没者が集中していること、赤道を越えたニューギニアで亡くなっている人が多いこと、戦後亡くなった人がいることなど、この作品から戦争の重い事実が伝わってきます。



【佳作】

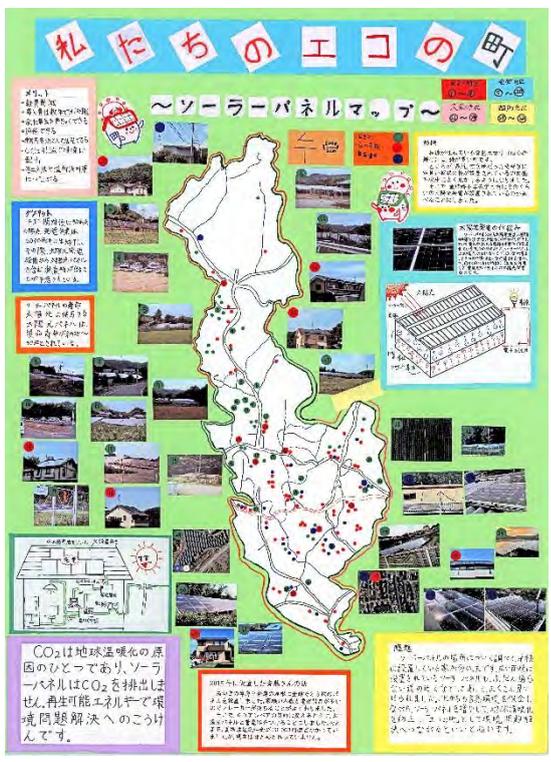
(作品名)  
「穴塚の里山ナラ枯れひがいのマップ」

(学校名)  
私立開智望小学校

(学年 氏名)  
2年 小磯 道允

【講評】

人の手が入ることによって豊かな自然が保たれている穴塚の広大な里山。作者はその一角に広がるナラ枯れ被害を食い止めるボランティアをしています。森に番地を付けて被害の実態を表した手描き地図や図表、ナラ枯れの原因となるムシの捕獲活動記録など、作品に表現された一つ一つの活動に費やした時間と作者の熱い思いが、環境保全への強いメッセージとなって伝わってきます。



【佳作】

(作品名)  
「私たちのエコの町」

(学校名)  
常陸太田市立 金砂郷小学校

(学年 氏名)  
6年 鯉淵 莉央、斉藤 葉菜

【講評】

最近増えているソーラーパネルについて詳しく調べ現地調査も行い、市内全域を対象にその分布を地図に表しています。住宅の屋根や倉庫、空き地などに設置されること、その形状も規模も異なること、ソーラーパネルにもデメリットや寿命があること、など多くのことを知ることができました。地図をよく見ているうちに、空き地はもほとんどな場所で、発電した電気はどこに送られるのか、など疑問もわいてきました。



## 【佳作】

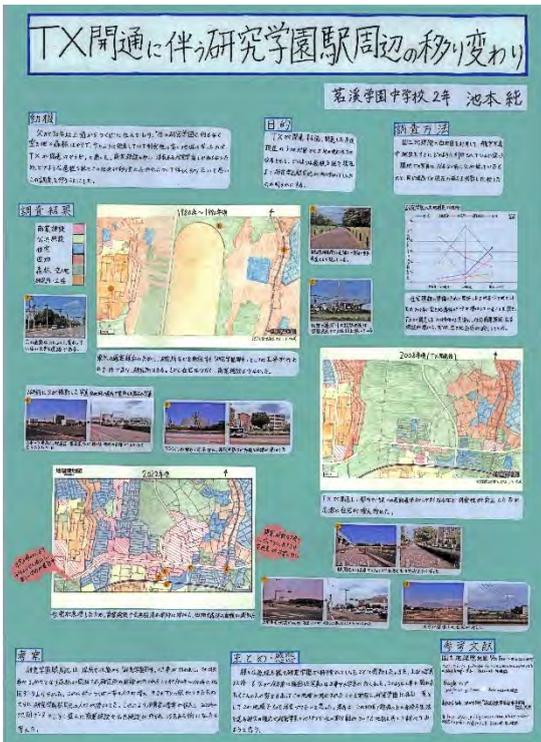
(作品名)  
「常陸太田市の城跡マップ ～発掘された所や地名からの確認～」

(学校名)  
常陸太田市立 金砂郷小学校

(学年 氏名)  
4年 瀧沢 ゆうみ  
6年 瀧沢 元起

## 【講評】

市内に多数あった城や館の所在が一目でわかる地図作品です。字地名でおおよその場所を押さえ、地形図で微地形を読み取りその位置を推定していく丹念な調査の賜物です。時代や城の役割によって立地は異なり、歴史と地理を関連させてみていくのは面白いですね。現地調査も行い、さらなる興味や疑問も出てきたようです。探究はまだまだ始まったばかり、これからのさらなる調査研究も楽しみです。



## 【佳作】

(作品名)  
「TX開通に伴う研究学園駅周辺の移り変わり」

(学校名)  
私立茗溪学園中学校

(学年 氏名)  
2年 池本 純

## 【講評】

TX開通前後と現在、3つの時期の駅周辺の土地利用を調査して地図やグラフに表したり、16年前の写真撮影地の現況を撮影して新旧写真を並べたり地図や写真を駆使して、TXが駅周辺地区の変容に与えた影響を“見える化”しています。便利になる一方で交通や住宅増により森林が減少することなど考察もしっかりしています。地域の定点観察を今後も継続したり別の視点で調べたり、まだまだ研究は発展しそうですね。

# 安全な場所に神社があるって本当？

**調査対象地の概要**  
 筑西市 筑西市  
 人口約7万人  
 面積205.3km<sup>2</sup>  
 北側西側が荒川大谷川  
 五行川小川川桜川  
 いずれも一級河川に指定されている  
 標高は20~60mの低地帯

**目的**  
 1. 筑西市の神社の立地が自然災害のリスクが低い土地に立地しているかを調査する。  
 2. 調査結果を基に、神社の立地に関する情報を提供し、防災意識の向上を図る。

**調査方法**  
 1. 筑西市の地形図を調査し、神社の立地位置を確認する。  
 2. 地形図を基に、神社の立地位置を地形分類の観点から分類する。  
 3. 調査結果を基に、神社の立地に関する情報を提供し、防災意識の向上を図る。

**結果**

地形分類	神社数	割合
山地	3社	(2%)
台地	19社	(13%)
低地帯	27社	(19%)
河川	2社	(1%)

**考察**  
 筑西市の神社の立地は、自然災害のリスクが低い土地に立地していることが多く、防災意識の向上を図る必要がある。

**参考文献**  
 筑西市の地形図、筑西市の神社の立地に関する調査結果、筑西市の防災意識に関する調査結果

## 【佳作】

(作品名)  
 「安全な場所に神社があるって本当？」

(学校名)  
 私立茗溪学園中学校

(学年 氏名)  
 2年 海老原 かれん

## 【講評】

河川が多い筑西市にある144の神社の立地について丹念に調べ、台地などの自然災害のリスクが低い土地に約8割が立地することを明らかにしています。地図とグラフで地形分類の配色を統一したり、写真と簡潔な文章で現地調査した各所の様子を示したり、研究成果を工夫してまとめています。作品をよくみているうちに、少数とはいえ氾濫平野にある神社の創建時期や洪水被害の有無なども知りたくなりました。

# 災害への備え

～自然災害伝承碑～

佐々木 愛奈

**自然災害伝承碑**  
 この伝承碑には被災経験が伝わるように、自然災害の歴史や、自然災害の備えについて、自然災害伝承碑の重要性を伝えるために作られた石碑のことです。

**全国の災害碑**  
 全国には36基あるというので、近くにある伝承碑を調べて行ってみようと思いました。

**まとめと感想**  
 昔の人が伝承碑として災害の備えを、左右に刻むことで、後世に伝えることで、災害の備えを呼び掛ける先人のメッセージが伝わりますね。県内には36基あるというので、近くにある伝承碑を調べて行ってみようと思いました。

## 【佳作】

(作品名)  
 「災害の備え～自然災害伝承碑～」

(学校名)  
 日上市立台原中学校

(学年 氏名)  
 1年 佐々木 愛奈

## 【講評】

茨城県内にある自然災害伝承碑のなかから8基を紹介しています。「可恐（恐るべし）」と記された100年以上前の洪水被害を伝える自然石を利用した石碑から、記憶に新しい近年の災害を詳しく伝えるりっぱな石碑まで、いずれも後世に被害を伝え災害への備えを呼び掛ける先人のメッセージが伝わりますね。県内には36基あるというので、近くにある伝承碑を調べて行ってみようと思いました。



第 23 回 いばらき児童生徒地図作品展 【展示】の作品



【展示】

(作品名)  
「茨城ゆかりの人物マップ」

(学校名)  
つくば市立東小学校

(学年 氏名)  
5年 貝塚 宗生



【展示】

(作品名)  
「バスのしゅうてんはどこ?」

(学校名)  
茨城大学教育学部附属小学校

(学年 氏名)  
1年 甲野藤 優文人



【展示】

(作品名)  
「探せ! 音響式信号機!!」

(学校名)  
土浦市立 土浦小学校

(学年 氏名)  
6年 木村 結佳



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県の老年化指数と交通網の関係」

(学校名)  
土浦市立 右羽小学校

(学年 氏名)  
3年 清水 優太

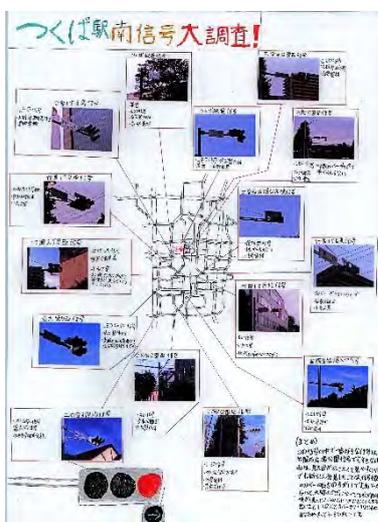


**【展示】**

(作品名)  
「山田川 新発見!!!」

(学校名)  
常陸太田市立 金砂郷小学校

(学年 氏名)  
4年 清水 順生  
6年 清水 佑多郎

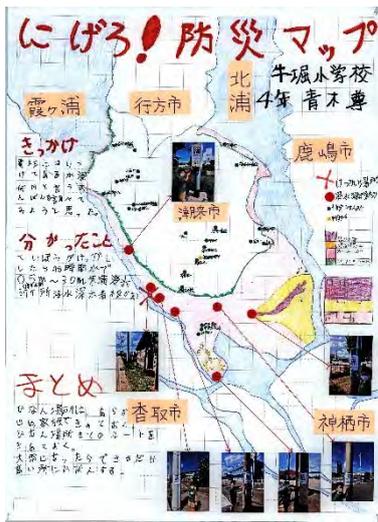


**【展示】**

(作品名)  
「つくば駅南信号大調査！」

(学校名)  
つくば市立 二の宮小学校

(学年 氏名)  
3年 近藤 寛太

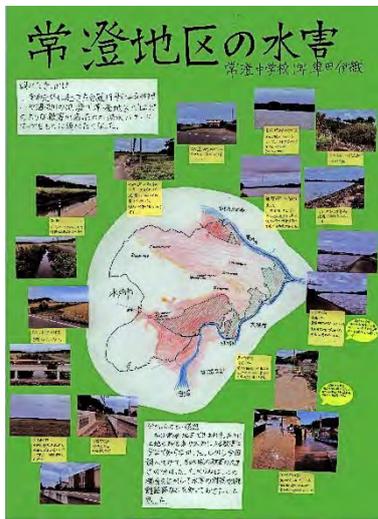


**【展示】**

(作品名)  
「にげろ! 防災マップ」

(学校名)  
潮来市立 牛堀小学校

(学年 氏名)  
4年 青木 尊



**【展示】**

(作品名)  
「常澄地区の水害」

(学校名)  
水戸市立 常澄中学校

(学年 氏名)  
1年 車田 伊織

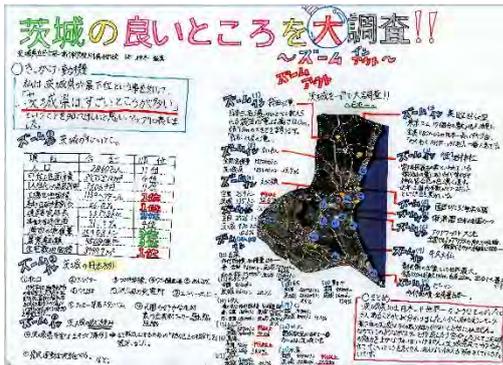


**【展示】**

(作品名)  
「茨城県石巡り観光マップ」

(学校名)  
茨城県立 古河中等教育学校

(学年 氏名)  
2年 島本 奏汰



**【展示】**

(作品名)  
「茨城の良いところを大調査!!」

(学校名)  
茨城県立 日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)  
1年 稲木 嵩真



**【展示】**

(作品名)  
「最適な工場の立地とは」

(学校名)  
茨城県立 日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)  
1年 鈴木 敦大



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県救急医療 MAP」

(学校名)  
茨城県立 日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)  
1年 荒川 歩夢



**【展示】**

(作品名)  
「日立周辺 佐竹氏城の特徴」

(学校名)  
茨城県立 日立第一高等学校附属中学校

(学年 氏名)  
1年 西岡 千太郎



**【展示】**

(作品名)  
「筑波山は水の山 ～筑波山の湧水の秘密を探る～」

(学校名)  
私立 茗溪学園中学校

(学年 氏名)  
2年 川島 蒼太

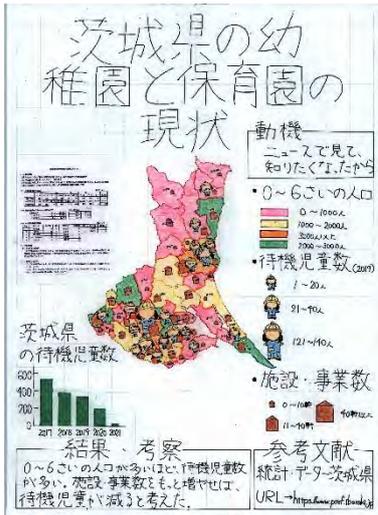


**【展示】**

(作品名)  
「地価から見えるつくば」

(学校名)  
私立 茗溪学園中学校

(学年 氏名)  
2年 松枝 凜

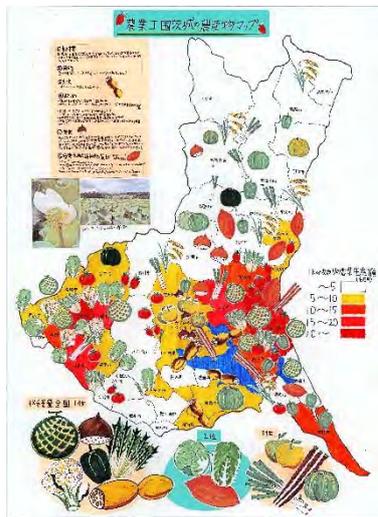


**【展示】**

(作品名)  
「茨城県の幼稚園と保育園の現状」

(学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 植草 颯月

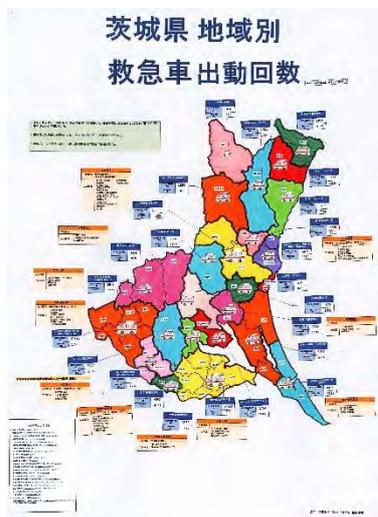


**【展示】**

(作品名)  
「農業王国茨城の農産物マップ」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 横田 理知



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県地域別救急車出動回数」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 諏訪 愛美



**【展示】**

(作品名)  
「霞ヶ浦周辺古墳マップ～昔を眺めて見える世界～」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 有坂 実尋

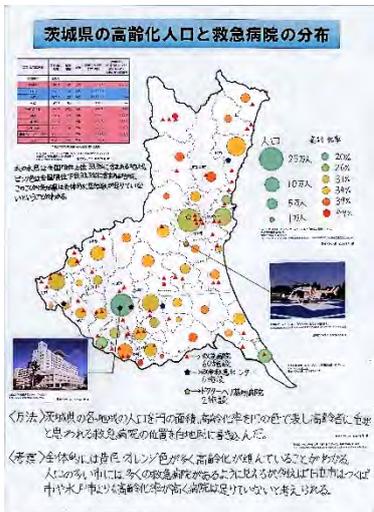


**【展示】**

(作品名)  
「取手市内の公衆電話の位置を探れ!!」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 武藏 瑞樹



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県の高齢化人口と救急病院の分布」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 松永 啓佑



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県のトマトを食べよう！」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 空地 光



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県主な古墳マップ」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 横山 ゆらら

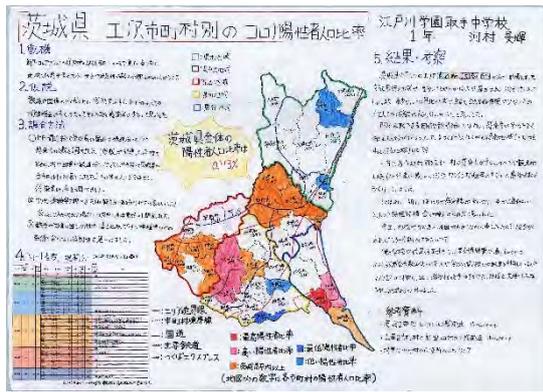


**【展示】**

(作品名)  
「守谷市 LED 信号機普及率調査」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 榎本 倅士



**【展示】**

(作品名)  
「茨城県 エリア市町村別のコロナ陽性者人口比率」

学校名)  
私立 江戸川学園取手中学校

(学年 氏名)  
1年 河村 昊輝



**【展示】**

(作品名)  
「緊急時にも使える東海村の公衆電話」

(学校名)  
東海村立 東海南中学校

(学年 氏名)  
1年 杉山 陽向太



**【展示】**

(作品名)  
「守れ！茨城の海」

学校名)  
水戸市立 千波中学校

(学年 氏名)  
2年 大貫 柊太



**【展示】**

(作品名)  
「募金箱の設置場所と種類のマップ」

学校名)  
ひたちなか市立 勝田第三中学校

(学年 氏名)  
1年 上条 花